



～明石こどもセンターからのお知らせ～

10月は「里親月間」です

親からの虐待、親の病気、経済的な問題など、様々な事情で家庭を離れて生活しなければならないこどもがいます。

里親を必要とするこどもの年齢は様々です。乳幼児をはじめ、自立への支えを必要とする中高生が、数年を里親家庭で過ごすこともあります。

明石市では、「あかし里親100%プロジェクト」として、すべてのこどもが家庭のぬくもりを感じながら、一人ひとりにとって望ましい環境で生活ができるよう、全28小学校区に里親家庭の登録を目指し、里親の推進に取り組んでいます。

毎月開催している「里親説明会」で、里親についての相談を行っています。わからないことや気になることがあれば、何でもご相談ください。

何でもご相談ください

明石こどもセンター さとおや担当
TEL:078-918-5282 FAX:078-918-5128
E-Mail:satooyasodan@city.akashi.lg.jp



あかし里親センター

〒674-0068 明石市大久保町ゆりのき通1-4-7 あかし保健所1階
TEL:078-935-9720 FAX:078-935-9721
E-Mail:akashi.satooya@ainote.main.jp



2025年度 下半期日程

【里親説明会】※予約不要

10/ 8 水	14時～16時	明石こどもセンター
10/19 日	10時～12時	ウイズあかし 803
11/ 7 金	18時30分～20時	ウイズあかし 803
12/18 木	14時～16時	明石こどもセンター
1/27 火	10時～12時	明石こどもセンター
2/16 月	10時～12時	明石こどもセンター
3/13 金	14時～16時	明石こどもセンター

【ショートステイ里親説明会】※予約不要

1/17 土	10時～12時	ウイズあかし 803
--------	---------	------------

【ボランティア里親入門講座】

10/ 4 土	10時～12時	ウイズあかし 802
---------	---------	------------



過去の明石こどもセンターだよりもご覧ください。



必見



しおりの作り方

①切り取り線に沿って切ります。
オレンジリボンがある方が表です。



②紙を半分に折ります。



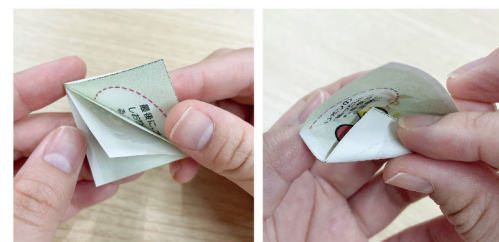
③さらに正方形になるように、半分に折ります。



④さらに三角に折り、折目をつけます。



⑤3枚を一度に中へ折り込みます。



完成！



出典：小林一夫『かんたん！使える！おりがみ生活小物』

発行／明石こどもセンター

〒674-0068 明石市大久保町ゆりのき通1丁目4-7 TEL:078-918-5097

明石こどもセンターだより

第6号

11月は「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」



明石こどもセンターは、すべてのこどもの「安心」と「希望」と「笑顔」を願って、地域みなさんと協力し、児童虐待のない社会を目指しています。

明石こどもセンター

こどもの福祉を守る専門的支援

- こどもの一時的な保護
- 児童福祉司などによる専門的援助
- 療育手帳判定・発行、障害相談
- 里親による養育や、児童福祉施設入所措置 など

身近なこども・子育て支援

- 家庭児童相談
- 関係機関との連携による虐待防止
- 育児支援
- 里親の啓発 など



さとおや担当

こども支援担当

緊急支援担当

さとおや担当

こどもが家庭のぬくもりを感じながら生活できるよう、里親委託、里親・里子支援、里親普及啓発活動等を行います。



里親説明会の様子

緊急支援担当

こども虐待の緊急対応に特化し、安全・安心の生活を守るために迅速に対応します。



会議で支援方法を話し合います

こども支援担当

育児・しつけ、発達相談、不登校、非行などの相談、療育手帳の判定・発行などに対応します。



アウトリーチ活動で支援を行います



多職種でチームを組んで
支援しています！

児童福祉司

保健師

保育士

医師

児童心理司

教員

元警察官

弁護士

4つの児童虐待(=こどもの虐待)

身体的虐待

- 殴る、蹴る、たたく、首を絞めるなどの暴力をふるう
- 激しく揺さぶる
- 戸外に長時間閉め出すなど

性的虐待

- こどもへの性的行為をする・性的行為を見せる
- こどもをポルノグラフィー(性的表現を含む作品)の被写体にするなど

心理的虐待

- 無視する・脅迫する
- 拒否的な態度をとる
- こどもの前で夫婦げんかをするなど

ネグレクト(育児放棄)

- 衣・食・住の世話をしない
- 病気・けがでも病院へ連れて行かない
- 乳幼児を置いて度々外出するなど

児童虐待による死亡事例は、全国で年間70人を超えているんだ。

※こども虐待による死亡事例等の検証結果等について(第20次報告)

明石市の児童虐待対応件数

2023年度に虐待対応件数が700件を超え、増加しています。

	身体的虐待	ネグレクト	性的虐待	心理的虐待	合計
2024年度	209	131	11	377	728
2023年度	171	137	7	422	737
2022年度	163	136	2	301	602
2021年度	170	127	11	387	695
2020年度	211	151	1	312	675
2019年度	138	145	5	321	609

虐待によるこどもへの影響

身体的な影響

- 暴力を受けたことによるけがや後遺症だけでなく、栄養不足やストレス、愛情不足により、成長障害につながることもあります。
- 恐怖や不安から眠れないなど、日々の生活にも影響が出ることがあります。

知的発達面への影響

- 安全安心でない環境で育つことにより、学校に行く、落ち着いて学習に取り組むといったことが難しくなります。
- また、精神発達に影響が生じることがあります。

心理的な影響

- 「自分は大切にされていない」と自己評価が低くなったり、自信が持てなくなることがあります。
- 怒りや悲しみを抑えられず、感情が爆発し、暴力をふるってしまったり、対人関係で問題が生じることがあります。

社会全体で、こどもを守っていくことが大切だね。

※症状の現れ方は、こどもによって様々です。



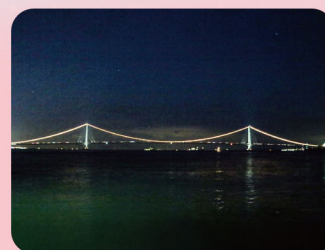
オレンジリボンキャンペーンを知っていますか？

毎年11月に、家庭や学校、地域等の社会全般にわたり、児童虐待問題に対する深い関心と理解を得ることができるよう、児童虐待防止のための広報・啓発活動に集中的に取り組んでいます。



明石市役所の横断幕

明石海峡大橋のライトアップ



天文科学館のライトアップ

バッジや啓発用ポスター・チラシ



これまでの明石市の『オレンジリボンキャンペーン』

街にあるオレンジリボンを探してみてね！

こんなこともしているよ

明石こどもセンター『出前講座』

明石こどもセンター職員が、地域に伺い、児童虐待の防止に関する講座を行います。

対象 市内在住、在勤、在学の方を中心としたグループ

費用 無 料(会場費については申し込みのグループでご負担ください)

申し込み 明石こどもセンター こども支援担当 078-918-5725



出前講座の様子

親自身が悩み、虐待行為をやめたいと望んでいる場合も少なくありません。ちょっとした気づきや行動が、ひとつの家庭を救うこともあります。

「気になるこどもがいる」と思ったら、ためらわずにいつでもご連絡ください。相談は匿名でも可能です。早期に適切な支援を行います。

**24時間
365日対応**

**虐待相談ホットライン
全国共通ダイヤル**

078-918-5726

189 [いちはやく] 通話無料

こどものサイン

- ・ こどもの泣き叫ぶ声や保護者の怒鳴り声がある
- ・ 衣類やからだがいっぱい汚れている
- ・ 表情が乏しい、元気がない
- ・ 夜遅くまで一人で遊んでいる

こんなサインを見逃さないで！



保護者のサイン

- ・ 地域との交流が少なく孤立している
- ・ 小さいこどもを家に置いたまま外出している
- ・ こどものケガについて不自然な説明をする

オレンジリボン運動の始まり

2004年、栃木県で3歳と4歳の2人の兄弟が、父親からの虐待により命を奪われるという痛ましい事件が起こりました。

この事件をきっかけに、虐待を受けたと思われるこどもたちの安全と、虐待防止の啓発を目的に、オレンジリボン運動が全国的に広がりました。

オレンジリボンには、『こどもの虐待の現状を広く知らせ、虐待を防ぎ、虐待を受けたこどもが幸せになれるように』という願いがこめられているんだって。



虐待は特別なもの？

こどもの虐待は、どこの家庭でも起こる可能性があります。家族間の不和、経済的な不安、親子の孤立など、虐待の引き金は様々です。

子育てをする中で生じる不安や寂しさといった感情は、決して特別なものではありません。ひとりで悩まず、相談してください。

こどもからの相談も受け付けています。



**あかし子育て相談ダイヤル
あかしこども相談ダイヤル**

TEL : 078-926-2525

E-Mail : soudan24@akashi-kosodate.jp

～24時間365日つながります～

最後に、オレンジリボンのしおりの作り方が載っているよ。ぜひ、しおりを作って、こども虐待防止活動に参加しよう！

